



第10回 中之島映像劇場

NAKANOSHIMA SCREEN

THE WORLD OF KANAI KATSU

2015.

11.7

SATURDAY

A / 13:00 - 《ヒロシマ1966》

※ 上映後に金井勝氏トーク

B / 15:30 - 《無人列島》

※ 《無人列島》には一部暴力的・性的な場面がございますので、ご注意ください

11.8

SUNDAY

C / 13:00 - 《GOOD-BYE》

※ 上映後に金井勝氏トーク

D / 15:00 - 《王国》



国立国際美術館

THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

B1階講堂 / 入場無料 / 全席自由 / 先着130名

※ 各日10:00より当日の各プログラムの整理券(1名につき1枚)を配布

※ 各プログラム入れ替え制

<主催> 国立国際美術館、東京国立近代美術館フィルムセンター

<協賛> ダイキン工業現代美術振興財団

<協力> かない勝丸プロダクション

上映フィルムはすべて東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品



National Film Center

《無人列島》(1969)より

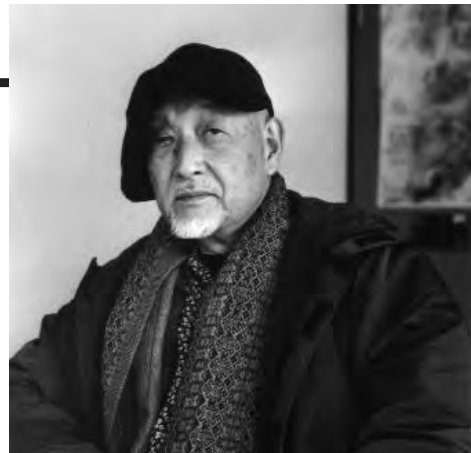


Photo: 江成常夫

第10回中之島映像劇場を開催いたします。今回は日本の前衛映画でも特別な存在感を示す金井勝の初期作品と、監督デビュー以前に撮影で参加した独立プロ作品を上映いたします。1964年、金井勝は自分の映画を撮るという目的のため、大手映画会社を退職しフリーランスとなります。その頃の日本は高度経済成長と闘争の時代、映画はまだまだ花形産業でありましたがけがりを帯びてきており、松竹ニューヴェルヴァーグをはじめとする新しい映画の動向、また海外からはアンダーグラウンド映画の波が押し寄せて、それに呼応する動きが日本国内でも巻き起こりつつありました。この激しい変革の中、金井は《無人列島》(1969)を皮切りに、《GOOD-BYE》(1971)、《王国》(1973)の、いわゆる「微笑う銀河系・三部作」を作り上げます。これらはその内容と形式において、同時代的にもその後の映画史においても、他に例の見当たらない独自の作品群であり、大きなインパクトを世界に与え続けています。制作公開から40年以上経った現在、今また新たな混迷を予感させるこの時代に、これらの作品は我々の眼にどう映るのでしょうか。

**A / 11.7. sat**  
13:00-

## 《ヒロシマ1966》

※ 上映後に金井勝氏トーク

(1966年 / 35mm / 白黒 / トーキー / 78分)  
監督・脚本: 白井更生 撮影: 金井勝  
照明: 佐沢仁郎 音楽: 山内正  
出演: 望月優子、加藤剛、松本典子、鈴木宏子ほか



今なお原爆に苦しめられる被爆者とその家族の苦悩。60年安保闘争に破れ、挫折した青年医師と女医との不毛な恋。並行に進展する無関係なふたつの物語は、映画終盤で不意に交差する。アラン・レネの《二十四時間の情事》(1959)のチーフ助監督を務めた白井更生が、その新しい作品作りに衝撃を受け、1965年に大映を退社して金井勝などとプロダクション「新制作集団」を結成して挑んだ意欲作。

**B / 11.7. sat**  
15:30-

## 《無人列島》

(1969年 / 35mm / 白黒 / トーキー / 55分)  
監督・脚本: 金井勝 撮影: 鈴木正実、佐沢靖朗  
共同脚本: 山崎佑次、宮田雪  
美術: 山崎佑次 録音効果: 河内紀  
出演: 串田和美、河西都子、新井純、大方斐沙子、青木一子、坂本長利、ゼロ次元(加藤好弘、岩田信市)ほか



教会を脱走した少年「日出国」は、尼僧の追跡から逃れながらも自ら変容していく。金井自身であり、戦後日本そのものの象徴である主人公は、堂々巡りの円環から逃れようとしてつづも、いつの間にかそれを支えるものにすり変わる。「微笑う銀河系・三部作」第1作『人の巻』。

※ 一部暴力的・性的な場面がございますので、ご注意ください。



## 国立国際美術館

THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55

TEL 06-6447-4680(代表)

http://www.nmao.go.jp/

■ 地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」(3番出口)より西へ徒歩約10分  
■ 京阪電車中之島線「渡辺橋駅」(2番出口)より南西へ徒歩約5分

展覧会情報 本上映会時には以下の展覧会を開催中です。  
「クレオパトラとエジプトの王妃展」、「コレクション1」  
会期: 10月10日(土)-12月27日(日)



**C /**  
11.8.  
sun  
13:00-



## 《GOOD-BYE》 ※ 上映後に金井勝氏トーク

(1971年 / 16mm / パートカラー / トーキー / 52分)  
監督・脚本: 金井勝 共同脚本: むささび童子 美術: 山崎佑次 共同演出: 山崎佑次、宮田雪 撮影: 巨真幸、金井勝、山崎佑次、富塚良一 出演: むささび童子、松井康子、梵魚寺勝丸(金井勝)、空涙犬吉(山崎佑次)、佐藤重臣ほか

失語症の少年は麗人(母)の子宮を経由して朝鮮半島に渡る。想像界のルーツを求める旅は、少年から金井自身へと視点を移動させつつ飛躍する。当時戒厳令下の韓国での口舌を敢行した、「血」から「地」へと至る「微笑う銀河系・三部作」『地の巻』。

**D /**  
11.8.  
sun  
15:00-



## 《王国》

(1973年 / 16mm / パートカラー / トーキー / 84分)  
監督: 金井勝 脚本: 金井勝、むささび童子 撮影: 巨真幸、吉田耕司、金井勝 共同演出: 斎藤隆、比田義敬 出演: むささび童子、大和屋さ、城之内元晴、桑名平治、岩田信市ほか

詩人「五九」は時の神「クロノス」を求めてさまよう。スリ集団にスリの技術を習い、鳥博士に渡り鳥の秘密を教わると、鳥の肛門を通過してガラパゴス諸島へ飛ぶ。「微笑う銀河系・三部作」完結編『天の巻』。